くれしん景気動向調査
2024年4～6月期

呉信用金庫

くれしんオリジナルキャラクター
れもネコ

ご案内

「くれしん景気動向調査」は、経営者の皆さまに最新の地元の景気についての情報を提供することを目的としています。

この景気動向調査は次のような特色を持っています。

① 製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業、サービス業の6業種について景気の動きを調査しています。

② ご協力いただいている調査先は330社に及び、調査対象地域は呉市を中心とする当金庫営業店所在地です。

③ 3か月ごとに最新の動きをまとめています。

④ 各回特別のテーマを設け「特別調査」を加えています。今回のテーマは「中小企業における災害等への対応について」です。

調査概要

1. 調査時期　2024年6月上旬
（毎四半期実施）
2. 調査内容　2024年1～3月と比較した
2024年4～6月の実績と
2024年4～6月と比較した
2024年7～9月の見通し
3. 調査方法　調査員による聴き取り調査
4. 調査対象企業数　当金庫のお取引先330社
5. 回答企業数　320社
6. 回答率　97%
7. 回答企業内訳　下表の通り

DIについて

DI（ディフュージョン・インデックス）とは、景気の動いている方向を判断するために用いられる指標で、「増加（または上昇・余裕があるなど）」という回答数から「減少（または下降・苦しいなど）」という回答数を差し引いたものをいいます。

例えば、売上額について回答全数が100で、このうち「増加」回答が合計40あり、一方で「減少」回答が合計30あったとすれば、DIは＋10%ポイントとなります。

従業者規模別	計	製造業	卸売業	小売業	建設業	不動産業	サービス業(※)
1～ 4人	89	26	7	31	11	6	8
5～ 9人	68	28	7	4	18	2	9
10～ 19人	59	28	2	8	11	1	9
20～ 29人	27	15	4	3	4	0	1
30～ 39人	22	8	3	4	2	0	5
40～ 49人	10	3	2	1	0	0	4
50～ 99人	21	8	2	4	4	0	3
100～	24	16	1	0	2	0	5
	320	132	28	55	52	9	44

※運輸業・郵便業を含んでいます。

2024年4～6月期の当地企業の業況判断は、製造業・非製造業ともに小幅改善。
来期（2024年7～9月期）は、製造業は小幅改善、非製造業は横這いの見通し。

概　況

●2024年4～6月期の業況

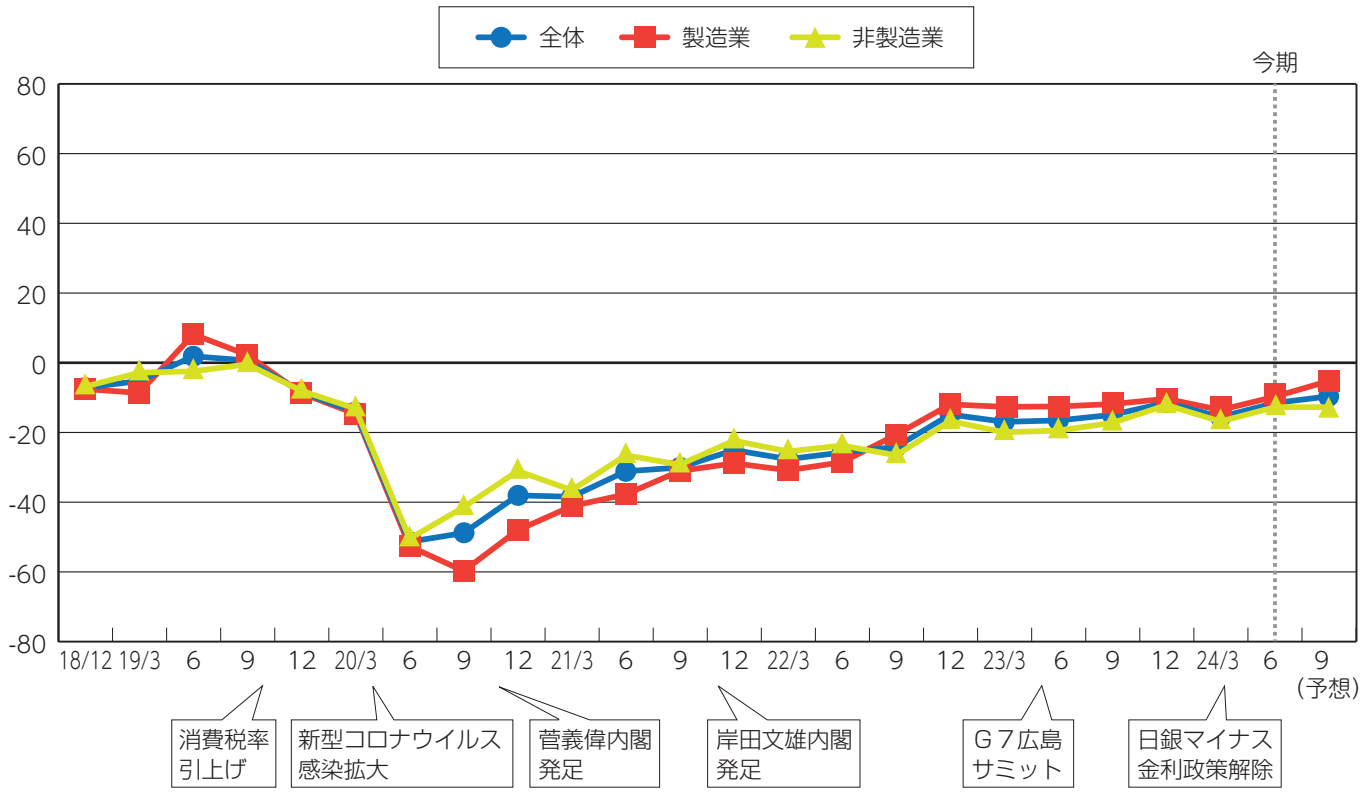
当地企業の今期の業況判断ＤＩは、全体で△11.6と前期比4.0ポイントの小幅改善となりました。製造業･非製造業別にみると、製造業は△9.8と前期比3.8ポイントの小幅改善、非製造業は△12.8と前期比4.1ポイントの小幅改善となっています。

●2024年7～9月期の業況見通し

来期については、全体で△9.7と今期比1.9ポイントの小幅改善の見通しです。製造業・非製造業別にみると、製造業は△5.3と今期比4.5ポイントの小幅改善、非製造業は△12.8と今期比0.0ポイントと横這いを見込んでいます。

	前　期	今　期（4～6月）				来期予想	
	（1～3月）	（カッコ内は前期の予想）		前期比	予想比	（7～9月）	今期比
全　　体（320社）	△ **15.6**	△ **11.6**	（△ 14.0）	＋ 4.0	＋ 2.4	△ **9.7**	＋ 1.9
製 造 業（132社）	△ **13.6**	△ **9.8**	（△ 9.1）	＋ 3.8	－ 0.7	△ **5.3**	＋ 4.5
非製造業（188社）	△ **16.9**	△ **12.8**	（△ 17.5）	＋ 4.1	＋ 4.7	△ **12.8**	＋ 0.0

業況判断ＤＩの推移



業種別業況判断ＤＩ

業種別の業況判断をみると、**製造業では**「自動車」が前期比改善、「金属製品」「一般機械器具」「その他」が小幅改善となりました。「食料品」はほぼ横這い、「船舶」は横這いとなっています。**非製造業では**「小売業」が前期比改善、「建設業」「サービス業」が小幅改善となりましたが、一方で「不動産業」が大幅後退、「卸売業」が小幅後退となっています。

来期の見通しについては、**製造業では**「食料品」が今期比改善、「金属製品」「一般機械器具」「その他」が小幅改善、「船舶」「自動車」が横這いを見込んでいます。**非製造業では**「卸売業」が今期比改善、「建設業」が小幅改善、「不動産業」「サービス業」が横這い、「小売業」が小幅後退を見込んでいます。

【業種別業況判断ＤＩ一覧表】

業種	有効回答数	業況判断（ＤＩ）の推移 前期 1～3月	今期 4～6月	来期予想 7～9月	判断 今期／前期	傾向	来期／今期	傾向
全体	320	△15.6	△11.6	△9.7	小幅改善	↗	小幅改善	↗
製造業	132	△13.6	△9.8	△5.3	小幅改善	↗	小幅改善	↗
食料品	16	5.9	6.3	18.8	ほぼ横這い	→	改善	↗
金属製品	37	△31.4	△29.7	△27.0	小幅改善	↗	小幅改善	↗
一般機械器具	20	△4.8	0.0	5.0	小幅改善	↗	小幅改善	↗
輸送用機械器具	32	△29.0	△21.9	△21.9	小幅改善	↗	横這い	→
うち船舶	13	△30.8	△30.8	△30.8	横這い	→	横這い	→
うち自動車	19	△27.8	△15.8	△15.8	改善	↗	横這い	→
その他	27	7.1	14.8	22.2	小幅改善	↗	小幅改善	↗
非製造業	188	△16.9	△12.8	△12.8	小幅改善	↗	横這い	→
卸売業	28	△14.3	△21.4	△10.7	小幅後退	↘	改善	↗
小売業	55	△44.6	△30.9	△40.0	改善	↗	小幅後退	↘
建設業	52	△9.6	△7.7	△3.8	小幅改善	↗	小幅改善	↗
不動産業	9	11.1	△11.1	△11.1	大幅後退	⬇	横這い	→
サービス業	44	2.3	9.1	9.1	小幅改善	↗	横這い	→
うち個人消費関連 食料品製造業 小売業・サービス業	115	△19.7	△10.4	△13.0	小幅改善	↗	小幅後退	↘

増減±0…**横這い**　増減±1.0未満…**ほぼ横這い**　±10.0未満…**小幅改善（後退）**　±20.0未満…**改善（後退）**　±20.0以上…**大幅改善（後退）**

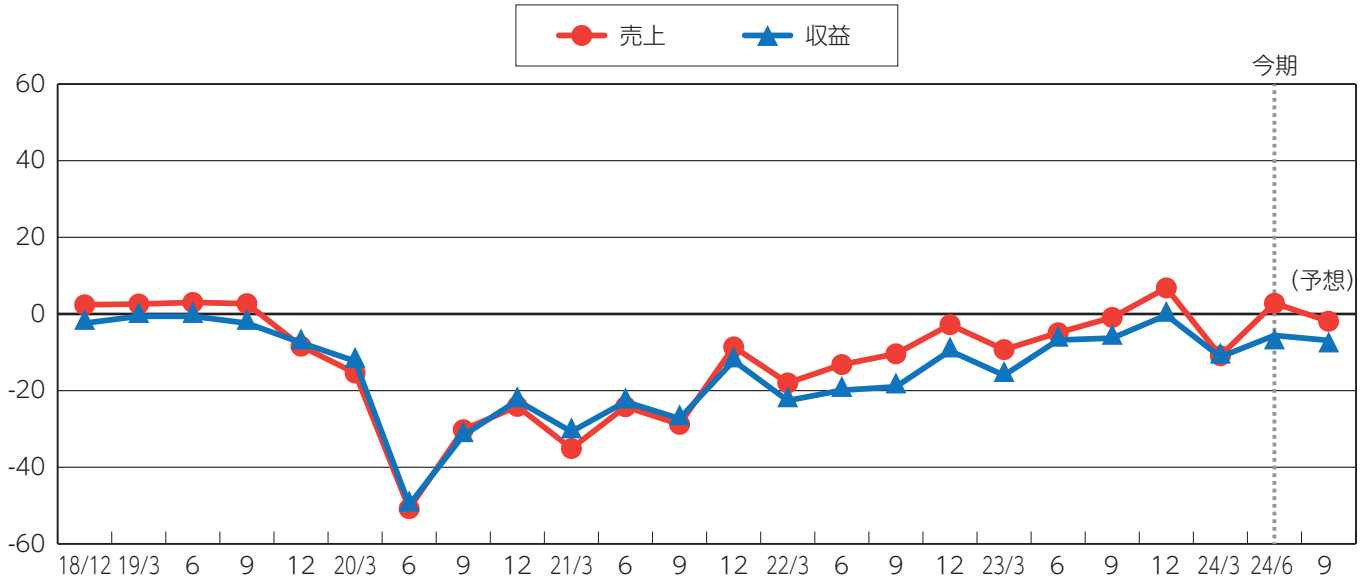
売上ＤＩおよび収益ＤＩ

売上ＤＩと収益ＤＩ（「増加」、「やや増加」－「減少」、「やや減少」）をみると、全体では売上ＤＩは改善、収益ＤＩは小幅改善となりました。業種別にみると、**製造業では**「食料品」は売上DI、収益DIともに大幅改善、「金属製品」「一般機械器具」「船舶」「自動車」は売上DIが改善、収益DIが小幅改善となりました。**非製造業では**「サービス業」は売上DIが大幅改善、収益DIが改善した一方で、「建設業」は売上DI・収益DIともに小幅後退となりました。来期の見通しについては、全体では売上ＤＩ・収益ＤＩともに今期比小幅後退の見通しです。業種別にみると、**製造業では**「自動車」は売上DIが改善、収益DIが大幅改善を見込む一方で、「食料品」「船舶」は売上DIが後退を見込んでいます。**非製造業では**「不動産業」は売上DIが大幅改善、収益ＤＩが改善、一方で「サービス業」は売上DI・収益DIが後退の見通しです。

【業種別売上ＤＩおよび収益ＤＩ】

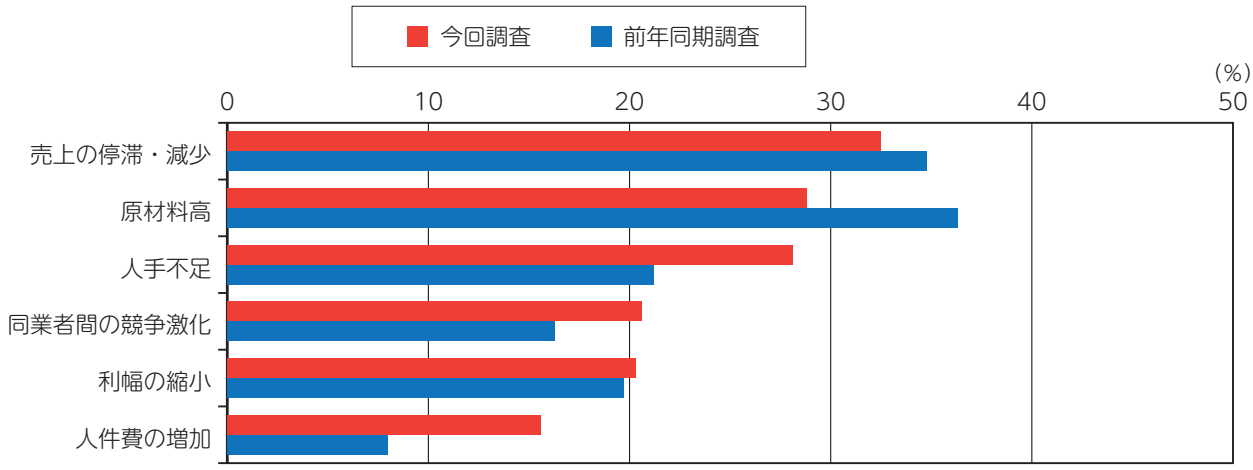
業種	売上ＤＩの推移					収益ＤＩの推移				
	前期 1～3月 実績	今期 4～6月実績見込	(前期比)	来期 7～9月見通し	(今期比)	前期 1～3月 実績	今期 4～6月実績見込	(前期比)	来期 7～9月見通し	(今期比)
全体	△10.9	2.8	(13.7)	△1.9	(-4.7)	△11.2	△5.6	(5.6)	△6.9	(-1.3)
製造業	△12.1	8.3	(20.4)	4.5	(-3.8)	△9.8	△2.3	(7.5)	△3.0	(-0.7)
食料品	△35.3	37.5	(72.8)	18.8	(-18.7)	△29.4	12.5	(41.9)	12.5	(0.0)
金属製品	△17.1	△5.4	(11.7)	△10.8	(-5.4)	△17.1	△8.1	(9.0)	△16.2	(-8.1)
一般機械器具	△19.0	0.0	(19.0)	0.0	(0.0)	△9.5	△5.0	(4.5)	△5.0	(0.0)
輸送用機械器具	△12.9	3.1	(16.0)	6.3	(3.2)	△16.1	△9.4	(6.7)	3.1	(12.5)
うち船舶	△23.1	△7.7	(15.4)	△23.1	(-15.4)	△15.4	△7.7	(7.7)	△15.4	(-7.7)
うち自動車	△5.6	10.5	(16.1)	26.3	(15.8)	△16.7	△10.5	(6.2)	15.8	(26.3)
その他	14.3	22.2	(7.9)	18.5	(-3.7)	17.9	7.4	(-10.5)	0.0	(-7.4)
非製造業	△10.1	△1.1	(9.0)	△6.4	(-5.3)	△12.2	△8.0	(4.2)	△9.6	(-1.6)
卸売業	△3.6	14.3	(17.9)	0.0	(-14.3)	△7.1	△7.1	(0.0)	△7.1	(0.0)
小売業	△26.8	△14.5	(12.3)	△20.0	(-5.5)	△28.6	△21.8	(6.8)	△20.0	(1.8)
建設業	0.0	△9.6	(-9.6)	△5.8	(3.8)	△3.8	△9.6	(-5.8)	△9.6	(0.0)
不動産業	△22.2	△11.1	(11.1)	11.1	(22.2)	△22.2	△22.2	(0.0)	△11.1	(11.1)
サービス業	△2.3	18.2	(20.5)	2.3	(-15.9)	△2.3	13.6	(15.9)	2.3	(-11.3)

売上・収益ＤＩの推移（全体）

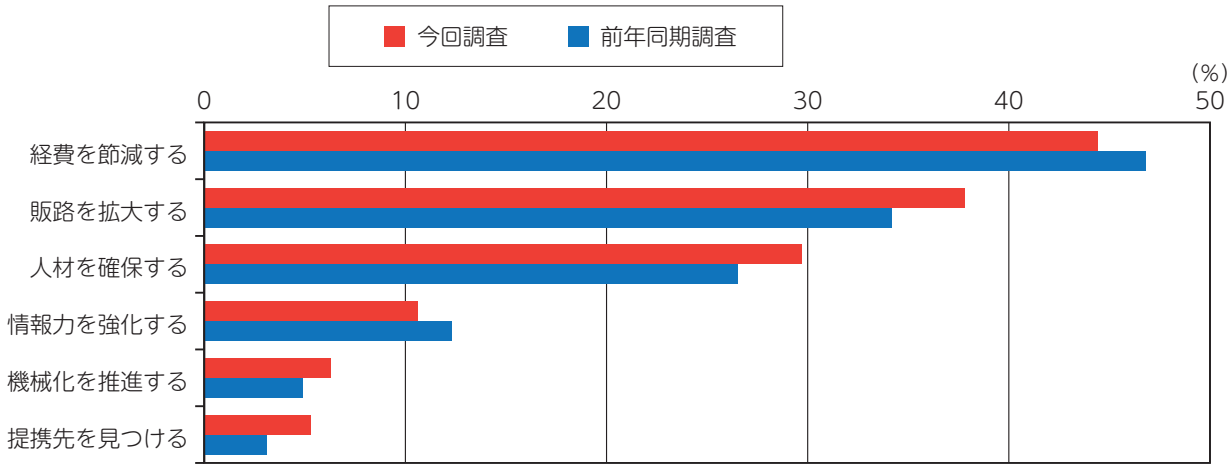


その他の調査結果

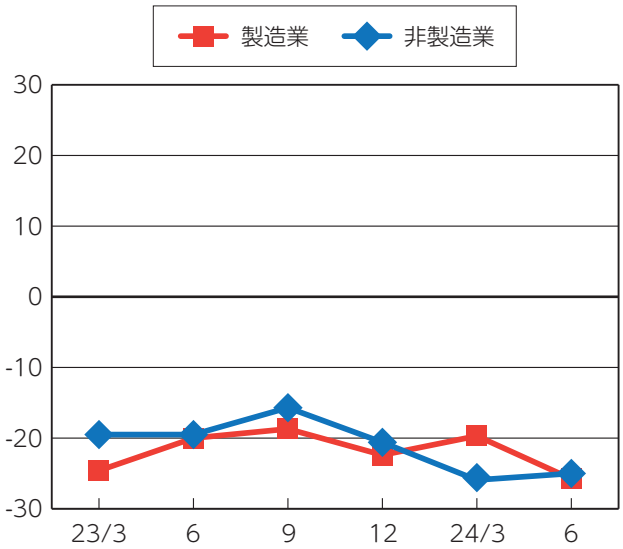
経営上の問題点（全体）



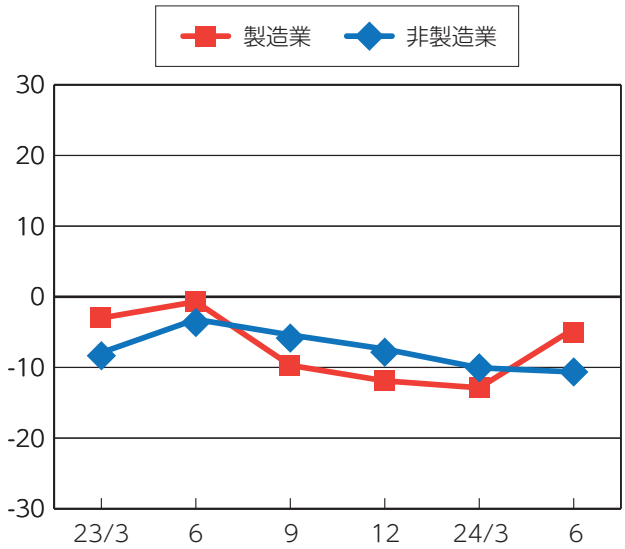
当面の重点経営施策（全体）



人手の適正度ＤＩの推移（過剰－不足）



資金繰りＤＩの推移（楽－苦しい）



調査員のコメント

●製造業

・売上は回復基調であるが、原材料価格高騰のため収益性は悪化している。販売価格の改定が必要である。（食料品）
・人員不足のため、外国人労働者を雇う予定である。人材紹介サービスなどを積極的に利用している。（金属加工）
・小口受注が多く、売上高は低調に推移している。仕入価格は高止まりしているが、販売価格への転嫁は困難な状況である。（一般機械器具）
・増産に向けて設備を整えた。今後、更なる業況改善が見込まれることから、人員の増員も検討している。（一般機械器具）
・原材料価格は高騰傾向にあり、販売価格への転嫁を交渉中である。受注状況は堅調に推移している。（一般機械器具）
・売上、収益ともに前期比増加傾向である。人材不足が続いており、人材確保が課題である。（船舶）
・取引先から提示される受注単価が安価であるため受注は難しい。新規取引先の受注確保が課題である。（船舶）

●非製造業

・業況は銅の建値推移に左右される。昨今は高値で安定推移しており、大きな変化はない。（卸売業・非金属）
・仕入価格の上昇はあるものの、価格転嫁により売上は増加している。今後は、利益増加のため販路拡大と認知度向上に注力する。（小売業・食品）
・仕入価格が1.3倍程度上昇したことに伴い販売価格を値上げした。収益は横ばいで推移している。（小売業・衣料品）
・材料費高騰分は価格転嫁ができているため利益は確保している。今後も安定した受注が見込まれる。（建設業）
・コロナ禍の影響が落ち着き、客室稼働率は上昇している。値上げ効果もあり収益性は回復している。（サービス業・ホテル業）
・売上、収益共にあまり変化はない。人件費など経費が増加しているため、経費節減などで回復を図る。（サービス業・建機リース業）
・事業再構築補助金を活用のうえ新事業を展開し、業況は改善傾向にある。（サービス業・運送業）

経済指標（呉市の統計）

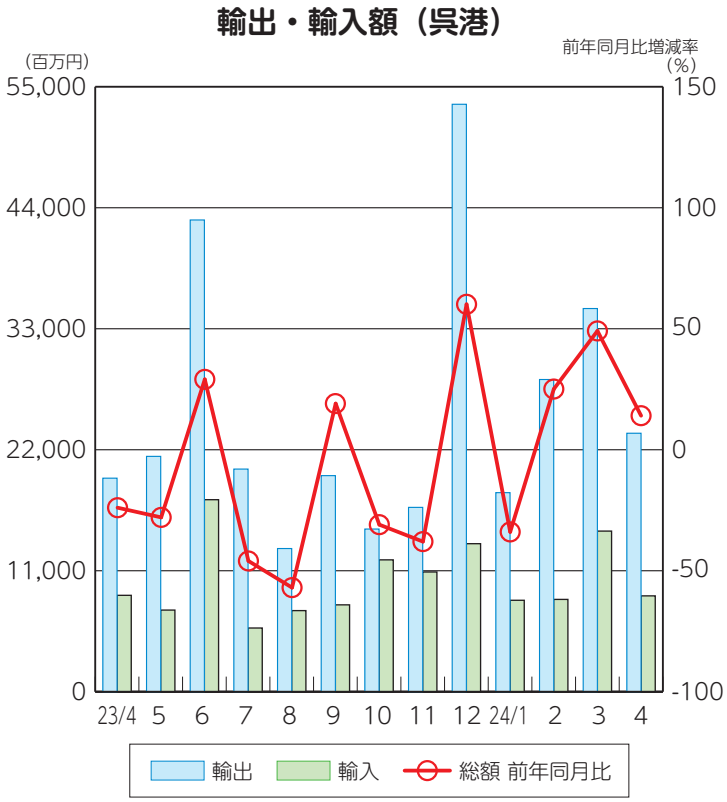
●人口の動き（2024年5月末）

資料：呉市「人口データ（住民基本台帳）」による

区　分	人口	前月比	前年同月比	
		増減	増減	増減率
	（人）	（人）	（人）	（%）
中央	46,061	▲ 137	▲ 960	▲ 2.0
吉浦	9,279	10	▲ 186	▲ 2.0
警固屋	3,787	▲ 7	▲ 118	▲ 3.0
阿賀	13,753	▲ 6	▲ 288	▲ 2.1
広	42,878	▲ 19	▲ 916	▲ 2.1
仁方	5,751	▲ 1	▲ 77	▲ 1.3
宮原	6,413	▲ 12	▲ 219	▲ 3.3
天応	3,617	▲ 17	▲ 46	▲ 1.3
昭和	30,842	▲ 38	▲ 621	▲ 2.0
郷原	4,299	27	▲ 87	▲ 2.0
下蒲刈	1,154	▲ 1	▲ 46	▲ 3.8
川尻	7,446	▲ 6	▲ 99	▲ 1.3
音戸	10,181	▲ 43	▲ 291	▲ 2.8
倉橋	4,450	▲ 4	▲ 128	▲ 2.8
蒲刈	1,373	▲ 5	▲ 35	▲ 2.5
安浦	9,492	▲ 14	▲ 195	▲ 2.0
豊浜	1,082	▲ 7	▲ 43	▲ 3.8
豊	1,410	▲ 5	▲ 73	▲ 4.9
呉市計	203,268	▲ 285	▲ 4,428	▲ 2.1

●輸出・輸入の動き（2024年4月末）

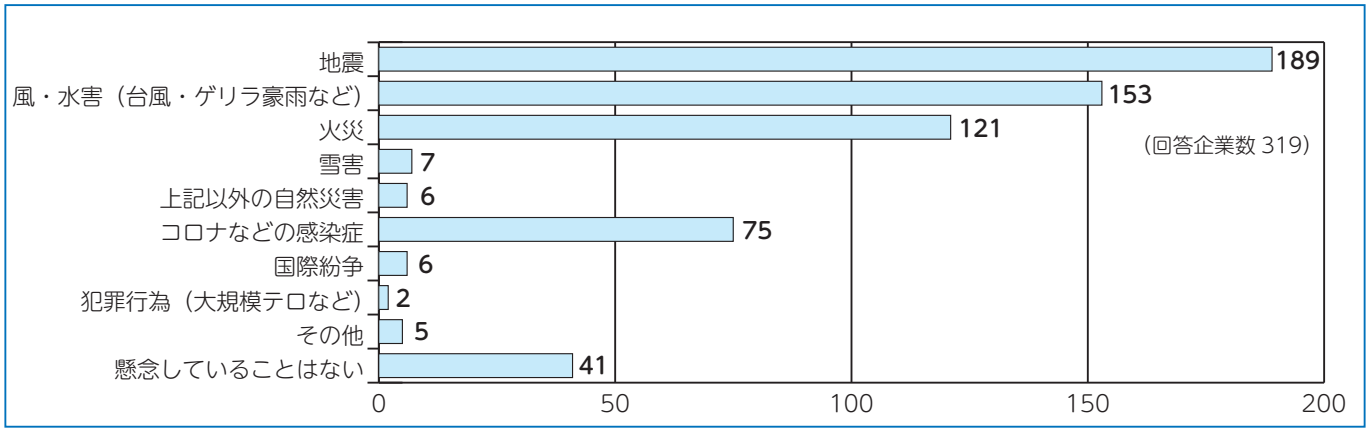
資料：神戸税関「管内地方港貿易概況」による



特別調査　中小企業における災害等への対応について

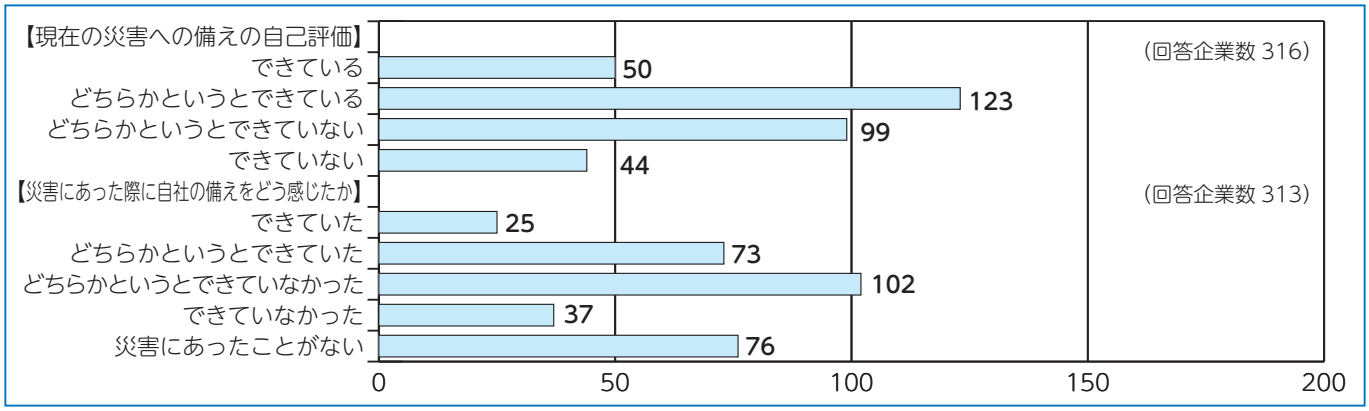
●普段意識している災害について(３つ以内回答)

普段、意識している災害については、自然災害では「地震」と回答した企業が189社（59%）と最も多く、次いで「風・水害(台風・ゲリラ豪雨など)」と回答した企業が153社（48%）ありました。また、自然災害以外では「コロナなどの感染症」と回答した企業は75社（24%）ありました。一方で「懸念していることはない」と回答した企業が41社（13%）ありました。



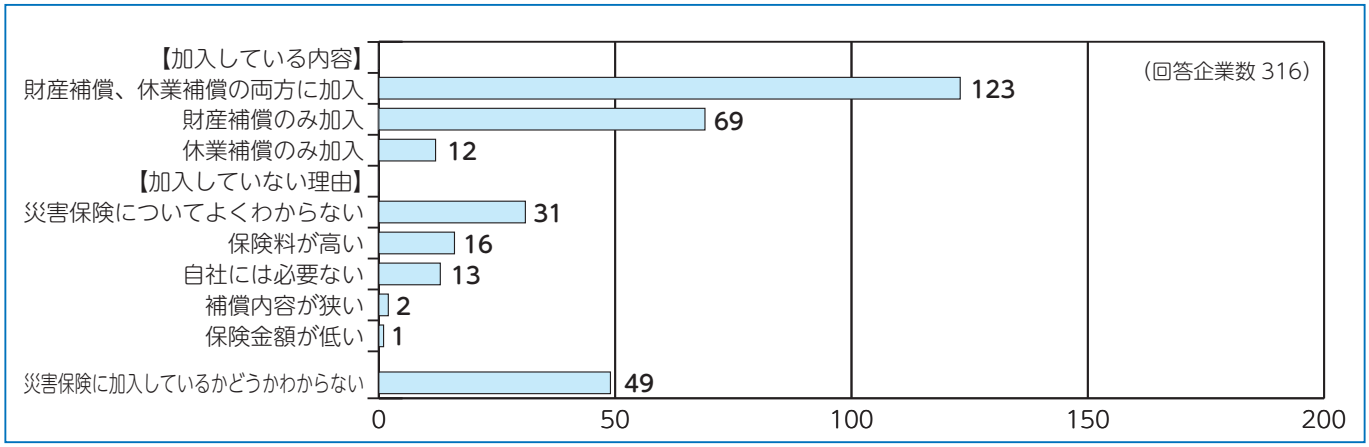
●現在の災害への備えに対する自己評価について

現在の災害への備えに対する自己評価として、「できている」「どちらかというとできている」と回答した企業が計173社(55%)ありました。一方で、「できていない」「どちらかというとできていない」と回答した企業は計143社(45%)ありました。



●事業継続にかかる保険の加入状況について

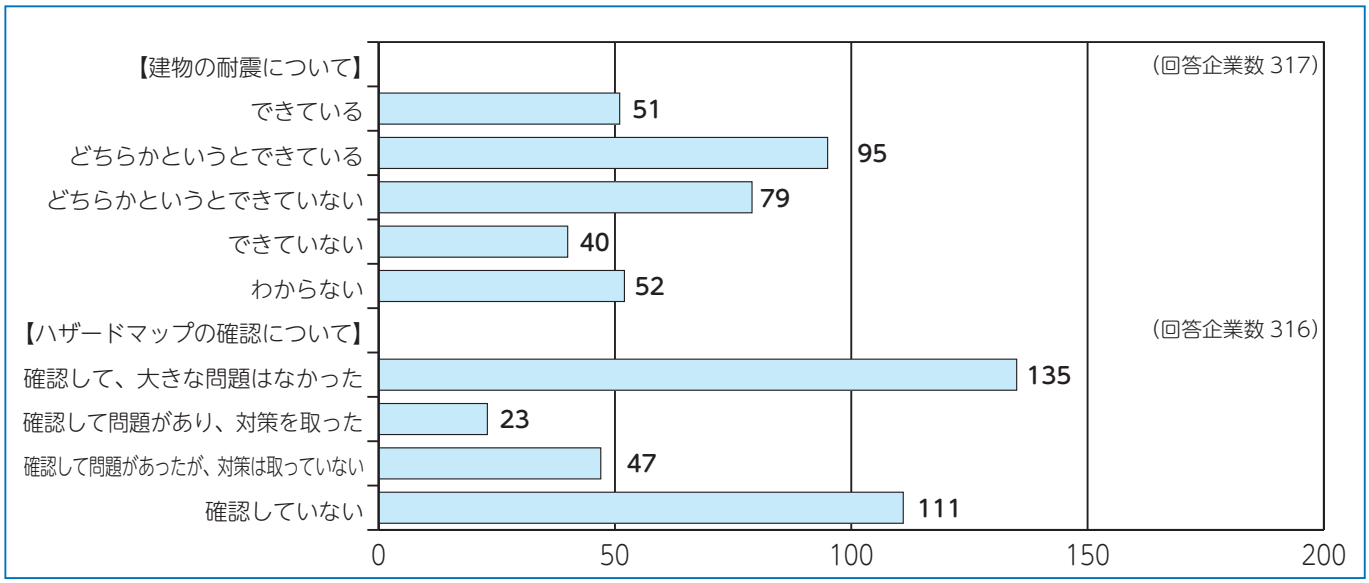
事業継続にかかる保険の加入状況については、財産補償、休業補償のどちらか一方、または両方に加入している企業が計204社（65%）と過半数を占めました。加入していない企業の理由については「災害保険についてよくわからない」と回答した企業が31社（49%）、次いで「保険料が高い」と回答した企業が16社（25%）ありました。



特別調査　中小企業における災害等への対応について

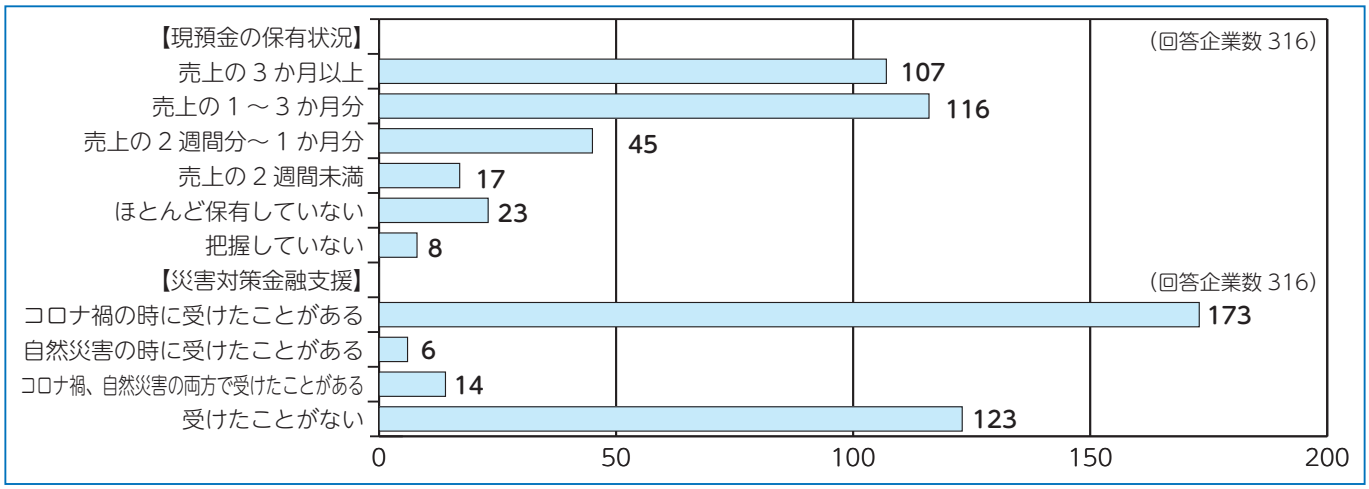
●使用している建物の耐震等について

建物の耐震については、「できている」「どちらかというとできている」と回答した企業が計146社（46%）、一方で「できていない」「どちらかというとできていない」と回答した企業が計119社（38%）ありました。また、ハザードマップの確認については「確認している」と回答した企業は計205社(65%)ありましたが、その内47社(23%)が「確認して問題はあったが対策は取っていない」と回答しました。一方で「確認していない」と回答した企業は111社(35%)ありました。



●災害時に備えた現預金の保有状況等について

災害に備えた現預金の保有状況については、「売上の1～3か月分」と回答した企業が116社（37%）と最も多く、次いで「売上の3か月以上」と回答した企業が107社（34%）ありました。また、災害対策金融支援については、173社（55%）が「コロナ禍の時に受けたことがある」と回答しました。



くれしん景気動向調査（2024年４～６月期）

編集・発行

呉信用金庫　経営企画部

〒737－8686　広島県呉市本通２丁目２番15号　TEL　0823-25-6822